

くまのびくに
熊野比丘尼の「絵とき」

現在開催されている岡山県立博物館秋季展のメイン展示は、「熊野比丘尼の絵とき」です。展示資料の中心は邑久町下笠加に伝えられたものです。

熊野比丘尼とは？

平安時代末期に貴族の間で熊野詣がはやって以来、熊野信仰が広まりました。熊野詣というのは、最近世界遺産にも登録された熊野



「熊野観心十界曼荼羅」地獄界の一部

（和歌山県）の神々を巡る旅のことです。熊野信仰は熊野山伏や熊野比丘尼などによって全国に広められました。比丘尼というのは女性の宗教者のことです。熊野比丘尼は歌念仏を唱えたり、お札を配ったり、地獄・極楽などの絵を解説する「絵とき」をし

て一般庶民に分かりやすく教えを説いたといわれています。

邑久町下笠加の資料

邑久町下笠加には、比丘尼が絵ときに実際に使ったと見られる「那智参詣曼荼羅」「熊野観心十界曼荼羅」をはじめ、多くの関係資料が残っています。これだけまとまって残っているとこ

ろは全国的にも珍しく、岡山県の重要文化財に指定されています。『邑久町史文化財編』に、主なものをカラー写真と詳しい解説で紹介しています。

地獄の苦しみを教える

絵ときに使った曼荼羅の地獄を描いた部分は、とても恐ろしいものです。閻魔さまに生前の罪を裁かれると地獄に送られます。針の山をさまよう男女、釜ゆでされる男女など、まさに地獄の苦しみが生々しく描か



「熊野観心十界曼荼羅」閻魔さまの裁き

れています。

こうした具体的な絵を解説しながら、地獄とはこのように恐ろしいところだ、地獄に落ちないようにするには日ごろの行いを善くしなければならぬといった教えを庶民に説いたのでし

よう。

岡山県立博物館秋季展は12月4日まで。

■問い合わせ先
岡山県立博物館
☎086-272-1149

ジャンプ
ステップ
ホップ

このコーナーは、生涯学習や生涯スポーツに生き生きと取り組む皆さんを紹介し、皆さんも仲間入りしませんか。

美しいハーモニー奏でる

リコーダーサークル

ミュージーズ
リコーダーサークルmus
esの練習日、長船町公民館の一室からリコーダーの優しい音色が聞こえてきま

す。
ソプラノからバスまでパート順に並び、公民館まつりで披露する曲を練習。みんなで選曲したものです。パートごとに練習し、みんなで作ります。「竹田子守歌」は情緒豊かに、途中からアップテンポになる「コンドルは飛んでいく」は、



心ひとつに奏でる美しいハーモニー

タイミングと音が合わず、何度も練習しました。

会員は12人。指揮者がいないので、全員がピタリとそろうのは至難の技。全員がそろって練習することも難しいのでなおさらです。周囲をちらつと見ながら息づかいで合わせます。だからこそ、「びったり合ったときの充実感は何ともいえない」と皆さん。

リコーダーグループ倉敷アイビーで活躍中の天本由美さんが、月に1度指導に訪れます。

ときには歯切れ良く、ときにははしつとりとハーモニーを奏でる皆さんは、おしゃべりも大好きだとか。音楽を楽しみながら、仲良く練習していました。

★活動日時 ▽金曜日・午前

10時30分～正午 ▽第2・4火曜日・午後7時30分～9時

★活動場所 長船町公民館

★会費 月100円

★代表 内田洋子さん

☎086912613122

何事も力いっぱい

邑久ミニバスケットボール
スポーツ少年団

「声を出して」「パス」「走れ」「シュート」。邑久小学校体育館からドリブルをするボールの音とともに、子どもたちの声援を送る声が聞こえてき

ます。汗を流しながらコートの端から端を右に左に駆け回る子どもたち。現在の団員は男子14人、女子17人の31人。
通常練習は、ドリブル・パスなどの基本練習、守りや攻撃の練習、男女に分かれ紅白戦などを行います。年間に県大会4回、東備地域の大会に2回程度参加し、力いっぱい戦います。11月6日は、邑久ミニバスのビッグイベントでもある本団

男女に分かれ
紅白戦邑久ミニバススポーツ
少年団の皆さん

主催の招待試合『ドリーム杯』が開催されました。団員や保護者が一致協力し、大会は大成。

「大きな声であいさつができること」「何事も力いっぱいやること」をモットーに県大会ベスト4を目指します。「大きな声を出し、チームをまとめていきたい。そして県大会で優勝したい」と那須大貴君（11歳・邑久町尾張）。ただ今、団員募集中。一緒にバスケットをしてみませんか。

★活動日時 ▽金曜日・午後

6時30分～8時45分 ▽土曜日・午後1時～4時30分

▽第2日曜日・午後1時～4時30分 ▽第4日曜日・

午前9時～正午

★活動場所 邑久小学校体育館

★会費 月1,500円

★連絡先 平川和徳さん

☎086912412270